

## 製品名: ルミカンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86230

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:60-85 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Lumican
別名	LDC; SLRR2D
遺伝子ID	4060
SwissProt ID	P51884
免疫原	ヒトルミカンの合成ペプチド

### 背景

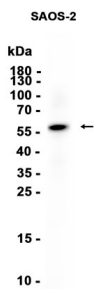
この遺伝子は、デコリン、ビグリカン、フィブロモジュリン、ケラトカン、エピフィカン、オステオグリシンを含む小型ロイシン

リッチプロテオグリカン (SLRP) ファミリーのメンバーをコードしています。これらの二機能性分子において、タンパク質部分はコラーゲン線維に結合し、高電荷の親水性グリコサミノグリカンは線維間隔を制御します。ルミカン は角膜の主要なケラタン硫酸プロテオグリカンですが、全身の間質性コラーゲンマトリックスにも分布しています。ルミカンは、コラーゲン線維の組織化と円周方向の成長、角膜の透明性、上皮細胞の移動と組織修復を制御していると考えられます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SAOS-2 細胞抽出物の Lumican ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) を使用したウエスタンブロット分析。